

G1-2023-

建 築

## 専門(記述式)試験問題

### 注 意 事 項

1. 配布物は、この試験問題のほか、答案用紙1枚です。
2. 解答時間は**2時間**です。
3. 定規は以下のものが使用できます。各自携行のものを使用し、指定したものの以外は使用しないでください。  
直定規1本、直角三角定規(45° - 45° - 90°)1枚
4. 答案用紙の記入について
  - (ア) 答案は、**鉛筆又はシャープペンシル**を用いて濃くはっきり記入してください。記入は、フリーハンドでも構いません。
  - (イ) 表紙の各欄にそれぞれ該当事項を記入してください。
  - (ウ) 試験の公正を害するおそれがありますので、答案用紙の余白部分に氏名その他解答と関係のない事項を記載しないでください。
5. 下書き用紙(方眼紙)はこの問題集の**中央部**にとじ込んであります。**試験官の指示**に従って、**試験開始後に**問題集から下書き用紙だけを慎重に**引きはがして**使用してください。なお、誤って問題集を破損しても、問題集の交換はできませんので注意してください。
6. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
7. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集及び下書き用紙の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集から**下書き用紙以外**を切り取ったり、問題を転記したりしないでください。
8. 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	試験の区分	受験番号	氏 名
	建 築		

**指示があるまで中を開いてはいけません。**

## 設計課題

### 「観光拠点施設」

以下の内容を踏まえ、要求図書を答案用紙の所定の解答欄にまとめよ。

#### [ I. 設計条件 ]

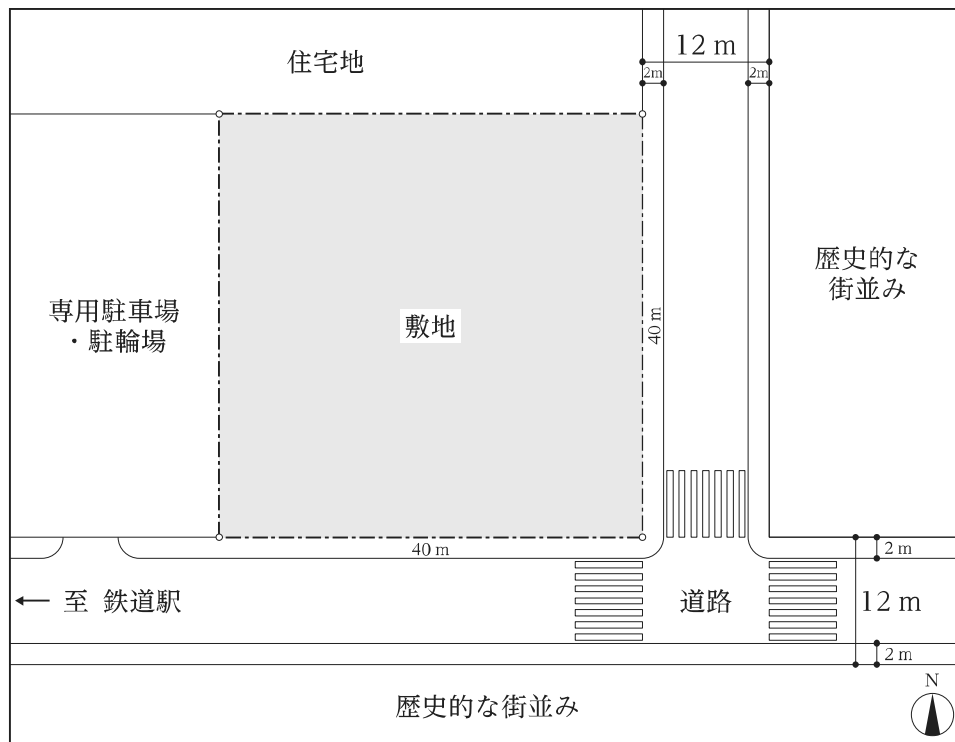
ある地方都市の郊外に、歴史的な街並みで有名な観光地がある。この観光地の一角に、観光客の利便性の向上を目的として、観光拠点施設を整備することとなった。

この観光拠点施設は、市が管理・運営することとしている。また、この施設の敷地内では、フリーマーケット等のイベントを開催することとしている。

本課題では、以下の条件に基づき、観光拠点施設の設計を行う。設計に際しては、利用者の利便性や敷地周辺の環境などに十分配慮し、設計条件に記載のない条件等については各自で想定して解答すること。

#### 1. 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地及び周辺の状況は、敷地周辺図のとおりである。
- (2) 敷地は平坦で、周辺との高低差はない。
- (3) 敷地西側には、来館者と職員が利用できる本施設の専用駐車場・駐輪場がある。
- (4) 建蔽率の限度は50%、容積率の限度は200%である。
- (5) 高さの制限及び日影規制は考慮しなくてよい。
- (6) 電気、ガス及び上下水道は完備している。
- (7) 地盤は良好であり、基礎についての特別な配慮は必要ない。
- (8) 気候は温暖であり、積雪についての特別な配慮は必要ない。



敷地周辺図

## 2. 建築物

- (1) 地上2階建て、1棟とし、構造種別は鉄筋コンクリート造とする。
- (2) 経済性に配慮し、床面積の合計が大きくなり過ぎないように計画する。
- (3) 建築物内は2方向避難経路を確保する。また、バリアフリーに配慮する。
- (4) 要求室等及びその条件は下表のとおりであり、全て設計に含めること。

区分	室名等	床面積	特記事項
来館者及び職員利用エリア	休憩スペース	約 100 m <sup>2</sup>	・ 1階に配置する。 ・ 来館者は無料で休憩することができる。
	土産物店	約 30 m <sup>2</sup>	・ 休憩スペースに隣接して設ける。
	レストラン	約 130 m <sup>2</sup>	・ 床面積約 130 m <sup>2</sup> の内訳は、客席約 100 m <sup>2</sup> 、厨房約 30 m <sup>2</sup> とする。
	多目的室	約 100 m <sup>2</sup>	・ 不定期に観光客向けのイベント等を行う。
	エントランスホール	適宜	・ 風除室を設ける。
	ロッカー室	約 20 m <sup>2</sup>	・ エントランスホールに隣接して設ける。
	授乳室	約 20 m <sup>2</sup>	
	トイレ	適宜	・ 各階に男女別トイレ及び車椅子使用者用トイレを設ける。
	エレベーター	適宜	・ 1基以上設ける。
職員専用エリア	事務室	約 50 m <sup>2</sup>	・ エントランスホールに隣接して設け、エントランスホール側に観光案内を行うためのカウンターを設ける。
	会議室	約 30 m <sup>2</sup>	
	設備機械室	約 70 m <sup>2</sup>	・ 機器の搬出入に配慮する。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他必要と思われる室、什器<sup>じゅう</sup>等があれば、適宜計画してもよい。</li> <li>・ トイレ内の詳細な平面及び各種設備機器は、<u>記入しなくてよい</u>。</li> </ul>			

## 3. 屋外施設

- (1) 敷地内は歩車分離を確保する。
- (2) 敷地西側の専用駐車場・駐輪場から敷地へのアプローチを考慮する。
- (3) 屋外施設及びその条件は下表のとおりであり、全て設計に含めること。

屋外施設名	特記事項
テラス席	・ 休憩スペースに隣接してテラス席を 50 m <sup>2</sup> 以上設ける。
搬入用駐車場	・ 2台分の駐車スペース(1台当たり幅 2.5 m × 奥行き 5.0 m)を設ける。
芝生広場	・ フリーマーケット等のイベントを開催できるスペースとして、合計 150 m <sup>2</sup> 以上設ける。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他必要と思われる屋外施設、スペース等があれば、適宜計画してもよい。</li> </ul>	

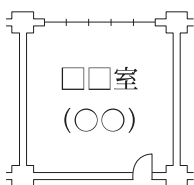
## 〔Ⅱ．要求図書〕

下記 1., 2. の要求図書を作成せよ。

### 1. 図面及び面積表

下表に従い、要求図面等をそれぞれ作成せよ(フリーハンドでもよい)。必要に応じて、図面中及び余白部分に補足説明、スケッチ等を書き込んでもよい。

要求図面等	特記事項
(1) 配置図兼 1 階平面図 (2) 2 階平面図 (縮尺は共に 1 : 200)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各平面図には、次の①, ②, ③を図示又は記入する。なお、③は、下記記載例を参考に記載すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①柱、壁、窓、出入口等</li> <li>②建築物の主要寸法(スパン割り及び床面積等の算出に必要な程度)</li> <li>③全ての室の室名及び床面積</li> </ul> </li> <li>配置図兼 1 階平面図には、屋外施設、通路、囲障、植栽等を記入する。</li> <li>2 階平面図には、1 階の屋根、<sup>ひきし</sup>庇等となる部分を記入する。</li> </ul>
(3) 面積表	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 階及び 2 階の床面積(算定式を含む。)並びにその合計を記入する。</li> <li>床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外廊下(外気に有効に開放されているものに限る。)、屋外階段及び屋上設備スペースは、算入しない。ただし、ピロティ等を屋内的用途に供するもの(駐車場、設備スペース等)については、床面積に算入する。</li> </ul>



室名及び床面積の記載例

(○○ m<sup>2</sup> の□□室の場合)

### 2. 設計主旨

配置計画、外構計画、平面計画、構造計画、設備計画、環境負荷の低減等について、設計において特に配慮した点を分かりやすく三つ箇条書で記述せよ。

(答案用紙見本)

G1-2023

建築

専門(記述式)

試験問題

[設計製図]

答案用紙

観光拠点施設

1. 図面及び面積表 (方眼は5.0mm目です。)

隣地境界線 (40 m)

隣地境界線 (40 m)

道路境界線 (40 m)

道路境界線 (40 m)

(1) 配置図兼1階平面図 縮尺 1 : 200

(3) 面積表		
1階床面積：(算定式)	計	m <sup>2</sup>
2階床面積：(算定式)	計	m <sup>2</sup>
床面積の合計：	計	m <sup>2</sup>

(2) 2階平面図 縮尺 1 : 200

2. 設計主旨

---



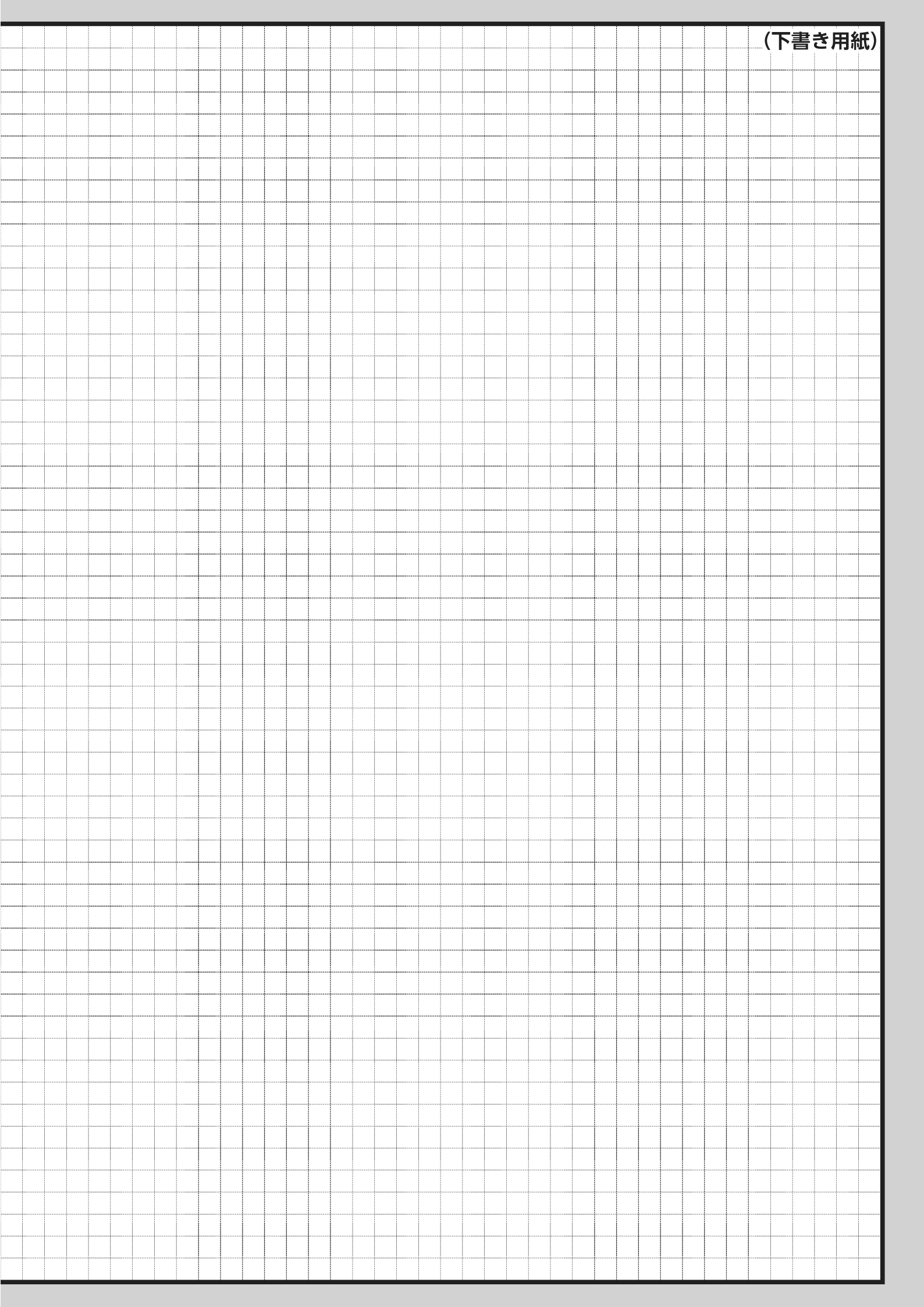
---



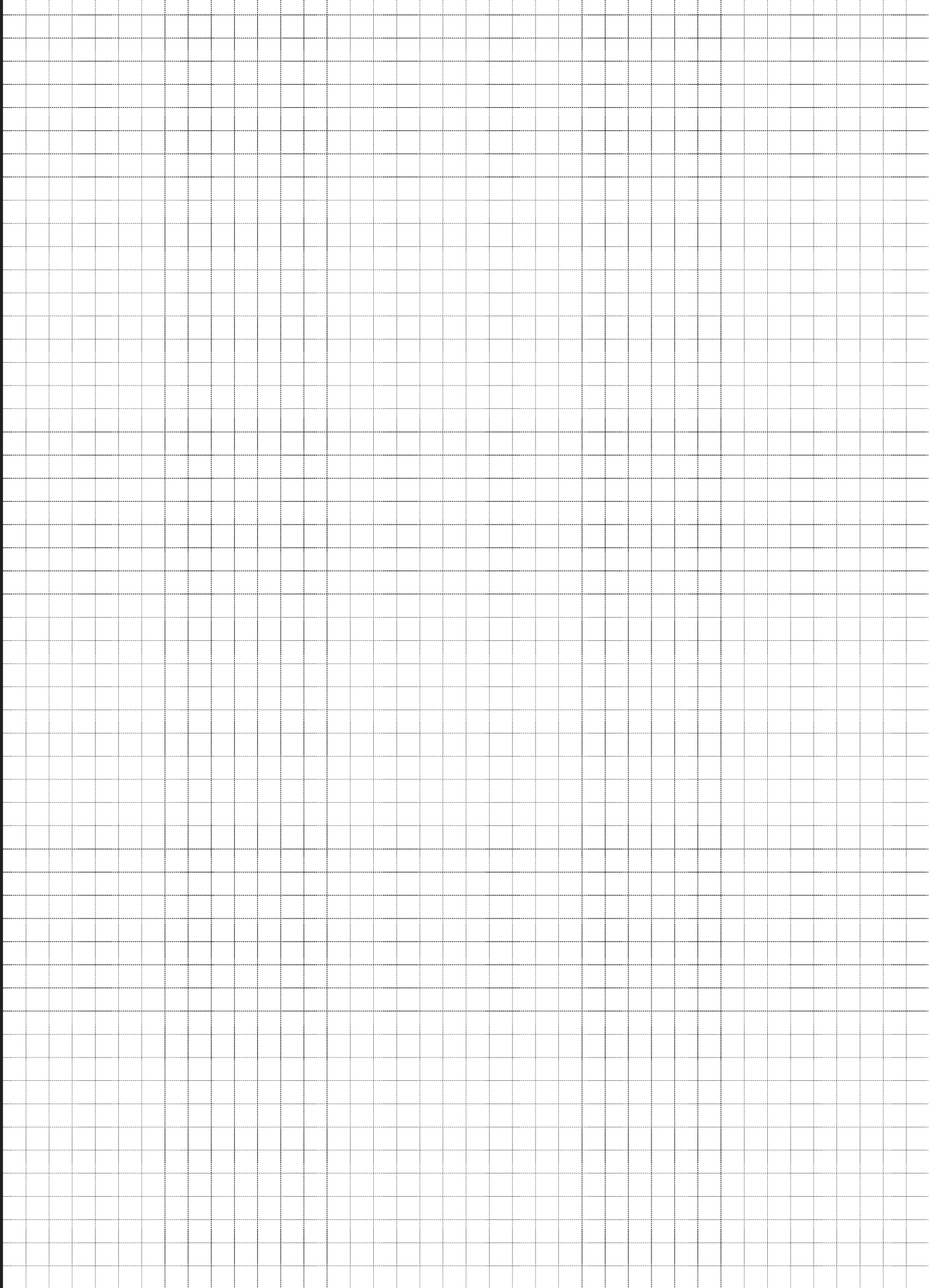
---

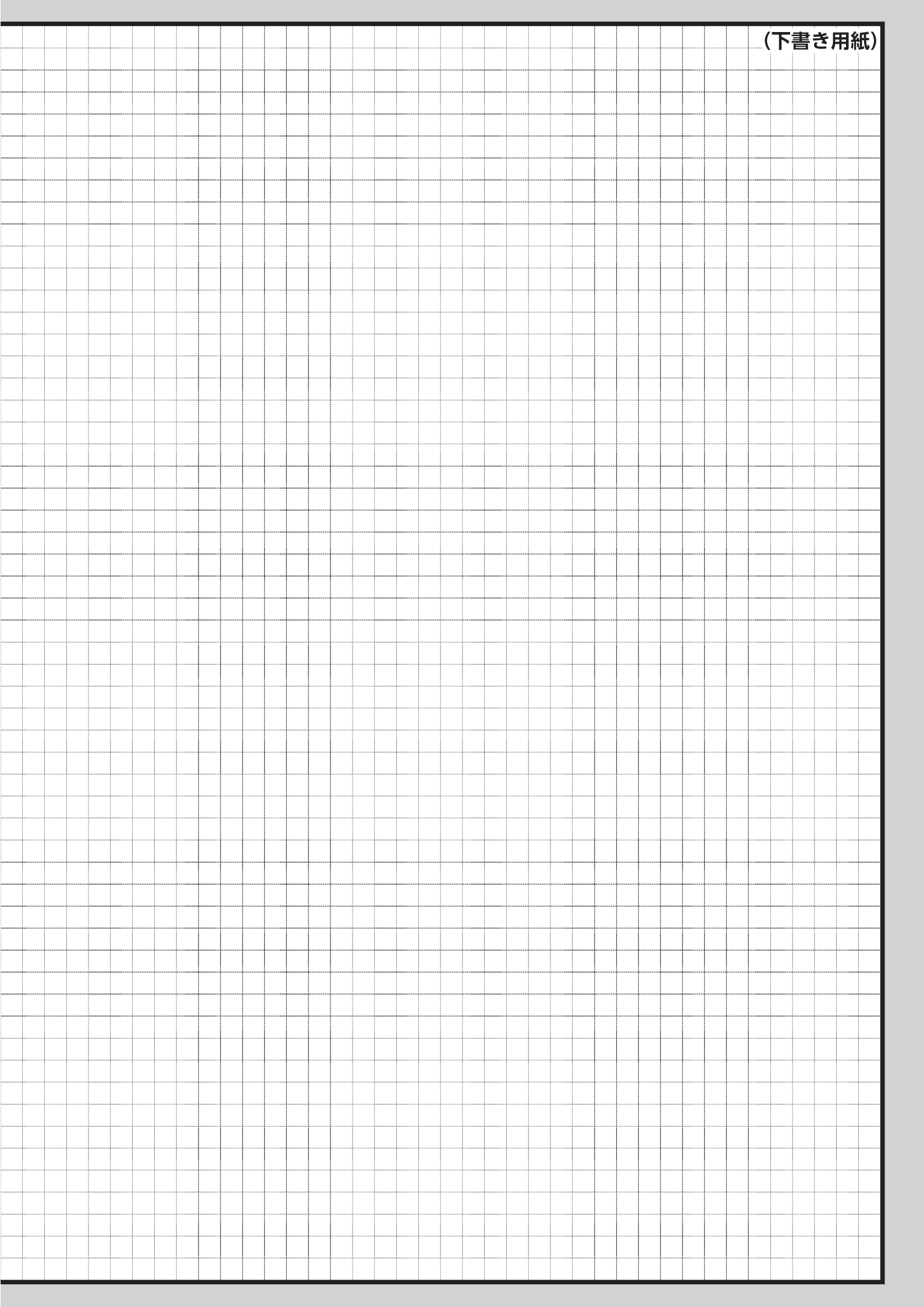


---



(下書き用紙)







(下書き用紙)

